

2014年3月期決算説明会



2014年 5月

株式会社DNAチップ研究所

DNA Chip Research

<http://www.dna-chip.co.jp>

I. 前期決算概要及び今期計画	3	III. 今後の研究開発について	15
1. 決算サマリー		1. 高齢化社会の問題	
2. 業績推移(3年間)		2. 健康長寿社会への取り組み	
3. 事業区分別売上高実推		3. 未病マーカー開発(RNAチェック)	
4. 2014年3月期業績詳細		4. RNAチェックの特徴	
5. 具体的推進プランの達成状況		5. 免疫年齢(RNAチェック)	
6. 2015年3月期計画		6. 革新的イノベーション創出プログラム	
7. 2015年3月期計画値の詳細		7. リウマチチェック	
8. 研究受託事業比率、粗利率の推移		8. 中期事業計画	
II. 2015年3月期業績改善施策	12		
1. 「業績改善」推進プラン			
2. 具体的推進プラン			



I. 前期決算概要及び今期計画

I-1. 決算サマリー

	2013年3月期	2014年3月期			対前年度比
		(予想値) ^(注1)	(実推)	比	
売上高(千円)	371,866	430,000	349,065	81%	94%
営業利益(千円)	△89,913	1,900	△44,781	—	50%
経常利益(千円)	△89,890	1,900	△44,743	—	50%
特別利益(千円)	24,484	0	0	—	—
特別損失(△千円) ^(注2)	14,455	0	83	—	0%
当期純利益(千円)	△80,810	1,000	△45,776	—	57%
研究開発投資(千円)	74,521	74,500	77,412	104%	104%
総資産(千円)	450,021	—	394,018		88%
純資産(千円)	384,513	—	338,737		88%
1株当り純資産額(円) ^(注3)	113.44	—	99.93		88%
1株当り当期純利益(円) ^(注3)	△23.84	—	△13.50		57%
営業利益率(%)	△24.2		△12.8		—
自己資本比率(%)	85.4		86.0		—

(注1) 予想値は、2013年4月25日に公表した2014年3月期業績予想数値である。

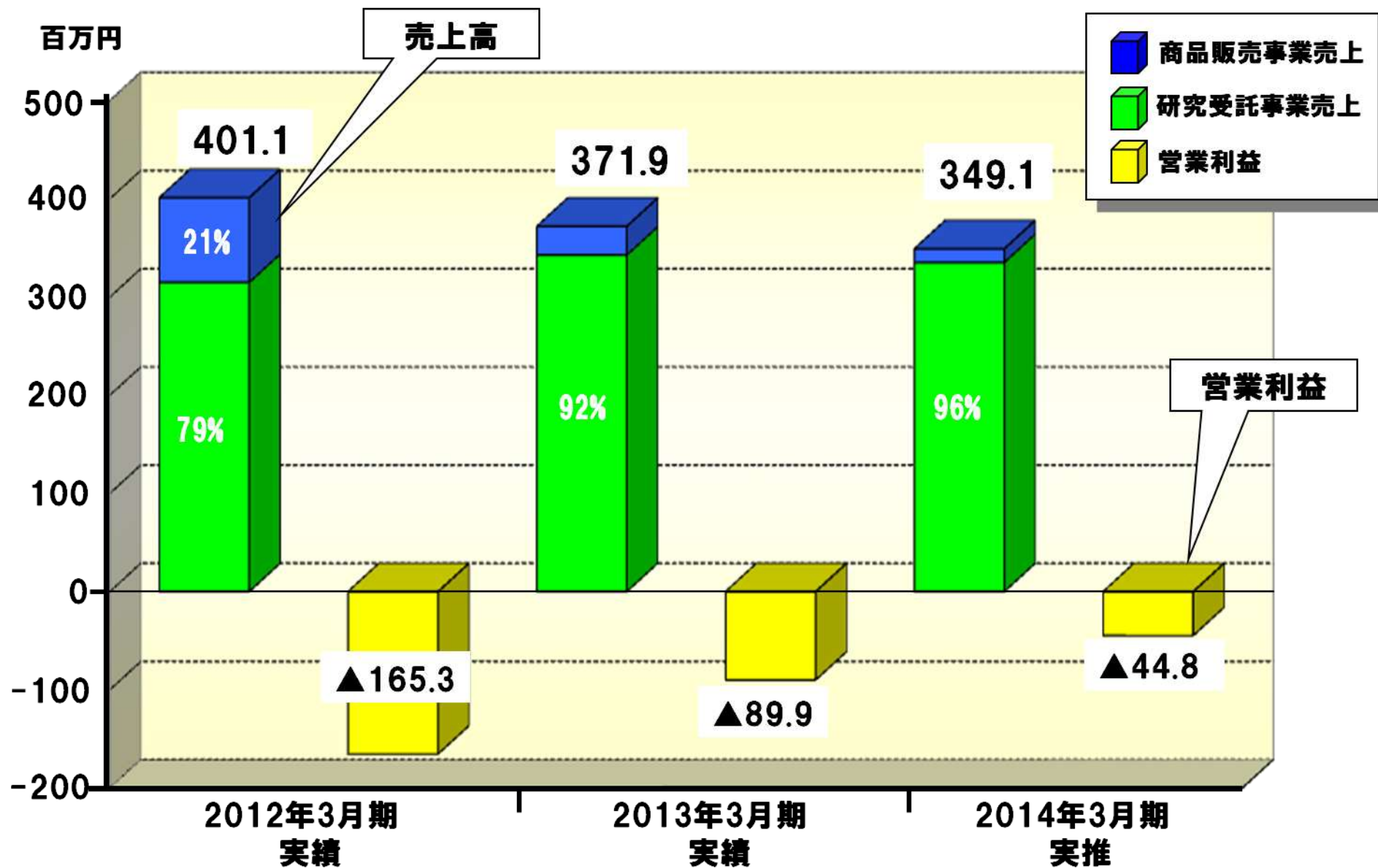
(注2) 2013年3月期の特別損失の内訳は、事務所移転費用等である。

(注3) 2013年10月1日付けで普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っており、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たりの当期純資産額及び当期純利益額を算定している。

I-2. 業績推移(3年間)



株式会社DNAチップ研究所



I-3. 事業区分別売上高実推



(金額単位:百万円)

項目	2013年3月期		2014年3月期			対予算比 (%)	対前年比 (%)	注残
	売上高	比率	売上高	比率	予算			
研究受託事業	研究委託(公募他)	24.6	7%	56.1	16%	/	228%	28.2
	受託解析	298.1	80%	261.7	75%		88%	
	診断事業	20.0	5%	17.4	5%		87%	
	計	342.7	92%	335.2	96%		417.0	
商品販売事業	汎用チップ・試薬	10.8	3%	9.0	3%	/	83%	-
	開発機器	5.3	1%	4.9	1%		92%	
	一般機器	13.1	4%					
	計	29.2	8%	13.9	4%		13.0	
合計	371.9	100%	349.1	100%	430.0	81%	94%	28.2

売上高が349.1百万円と、対前年同期比94%。研究受託事業に限ると対前年同期比98%の仕上がりであるが、対予算比では80%と大幅未達となった。

【研究受託事業】

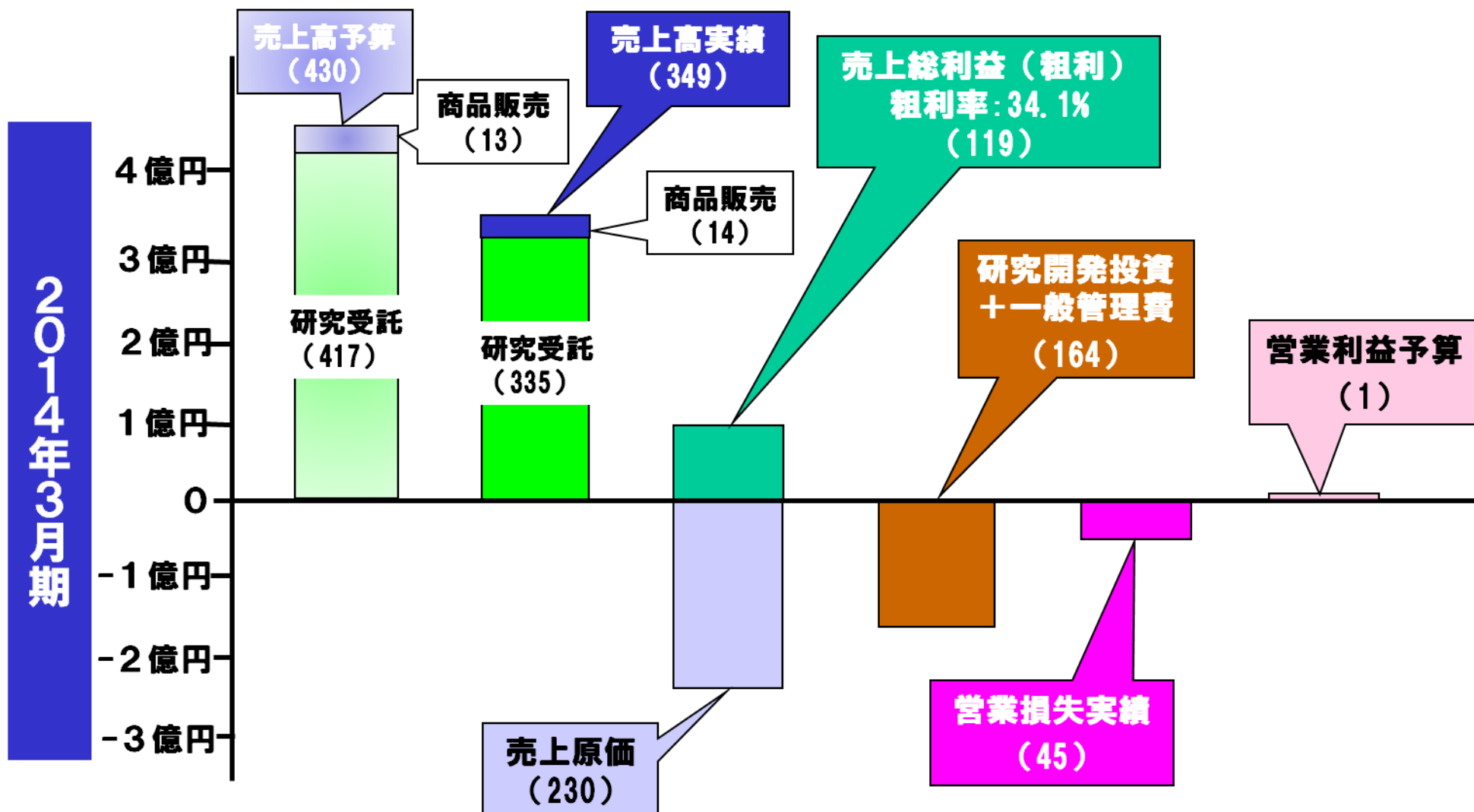
構成比率の高い受託解析のうち次世代シーケンサー受託で計画していた売上が、他社との競合等により大幅未達となった。また診断事業では、リウマチの多剤効果判定の製品化の遅れや新たな診断メニューの製品化遅れ等により売上未達となった。

【商品販売事業－汎用チップ・試薬、開発機器】

ハイブリ先生、iRIS等自社商品の販売に注力した。その結果、ほぼ前年並みの実績となった。

I -4. 2014年3月期業績詳細

1. 研究受託事業において、シーケンス受託解析サービスと診断事業の不振により売上対予算比80%と低調な結果となった。
2. 粗利率は前年度比8%向上したが、売上未達により営業損失45百万円と黒字化を実現できなかった。



I-5. 具体的推進プランの達成状況

1. 研究受託事業メニューの充実

No	具体的推進プラン	達成状況
1	全社員営業活動と提案型研究受託提案 -リピート顧客確保と食品、創業系の大型案件受注-	・民間企業・大学等を中心に大型案件5件受注
2	新規受託メニューの充実 -PCR受託、次世代シーケンス受託への展開- 研究受託 -臨床研究/コホート研究サポート(公募事業)- 健康支援 -食品企業等をターゲットとした受託研究-	・ゲノム解析充実を行ったが、前年度比88% ・大学病院等と連携し推進中(癌、ワクチン等) ・新規案件を3件受注
3	新規施策: ・再生医療支援事業 -細胞の安全性評価系へ参入-	・2013年サービス開始。大学等を中心に8件受注

2. 診断事業の推進

No	具体的推進プラン	達成状況
1	リウマチ多剤効果判定	・3剤対象のサービスは下期にシフト ・論文化・特許化推進中
2	iCIS-crdb、iPadソフト・ビジネスの展開 -医療情報システム統合サービスの開始-	・iRIS(iPadソフトウェア・パッケージ)を13セット受注 ・iCIS-crdbを製薬会社へ提案中
3	研究開発から事業化へ加速 -診断マーカー、発現プロファイルデータなどのビジネス化-	・神経膠腫マーカー開発完了 ・マーカー特許出願(2件)
4	新規施策: 医薬品開発と一体化した診断マーカー開発へ参入 -コンパニオン診断薬開発支援-	・血漿サンプルによるEGFR変異検出サービス準備完了 ・製薬会社から受注(1件)

項 目	2014年3月期 実推	2015年3月期 計画	対前年度比
売上高(千円)	349,065	440,000	126%
営業利益(千円)	▲44,781	2,000	—
営業利益率(%)	—	—	—
経常利益(千円)	▲44,743	2,000	—
経常利益率(%)	—	—	—
当期純利益(千円)	▲45,776	1,000	—
研究開発投資(千円)*1	77,412	71,100	92%

(注*1)2014年3月期研究開発投資額実推77,412千円のうち自社負担分は、26,408千円。2015年3月期研究開発投資計画71,100千円のうち自社負担分は4,500千円である。

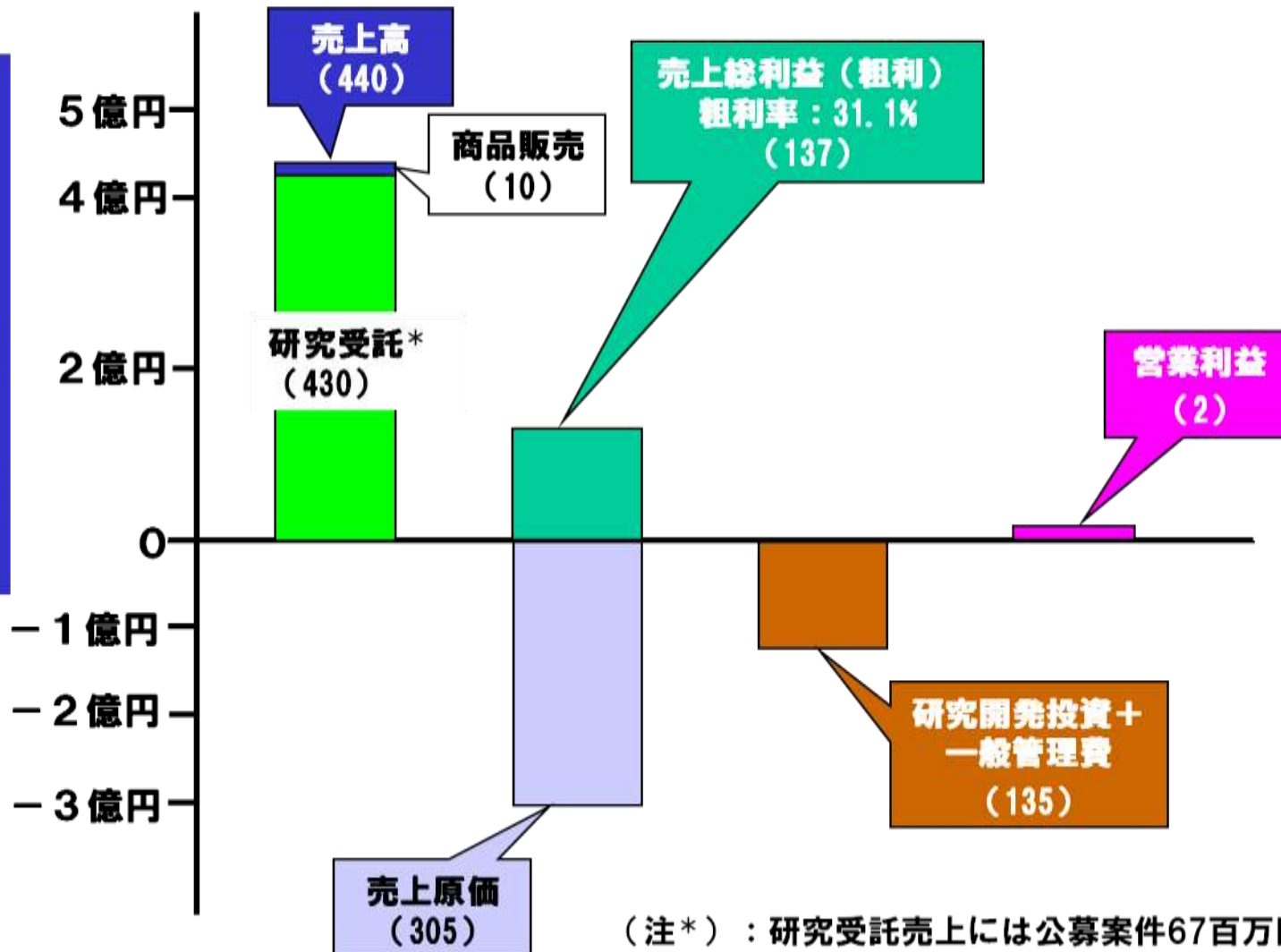
(対前年度比較)

- **売上高** : **研究受託事業** → アジレント製マイクロアレイ、次世代シーケンス、診断支援及び関連ビジネスに注力
(335百万円 → 430百万円) (1)マイクロアレイ受託解析強化、細胞の品質評価系への参入・拡充: 売上実績比28%アップ
(2)診断支援/関連ビジネス : リウマチ多剤効果判定、免疫年齢の事業展開
診断コンテンツを活用したビジネスの展開
- **商品販売事業** → 弊社独自開発パッケージ製品の販売に注力
(14百万円 → 10百万円) ハイブリ先生、iRISの拡販
- **営業利益** : 研究受託事業売上増加(売上高:335百万円 → 430百万円 128%増)による人件費等の固定費回収増
- **研究開発投資** : リウマチ多剤効果判定、アルツハイマー診断など診断関連バイオマーカーのビジネス化(主に公募提案により実施)

I-7. 2015年3月期計画値の詳細

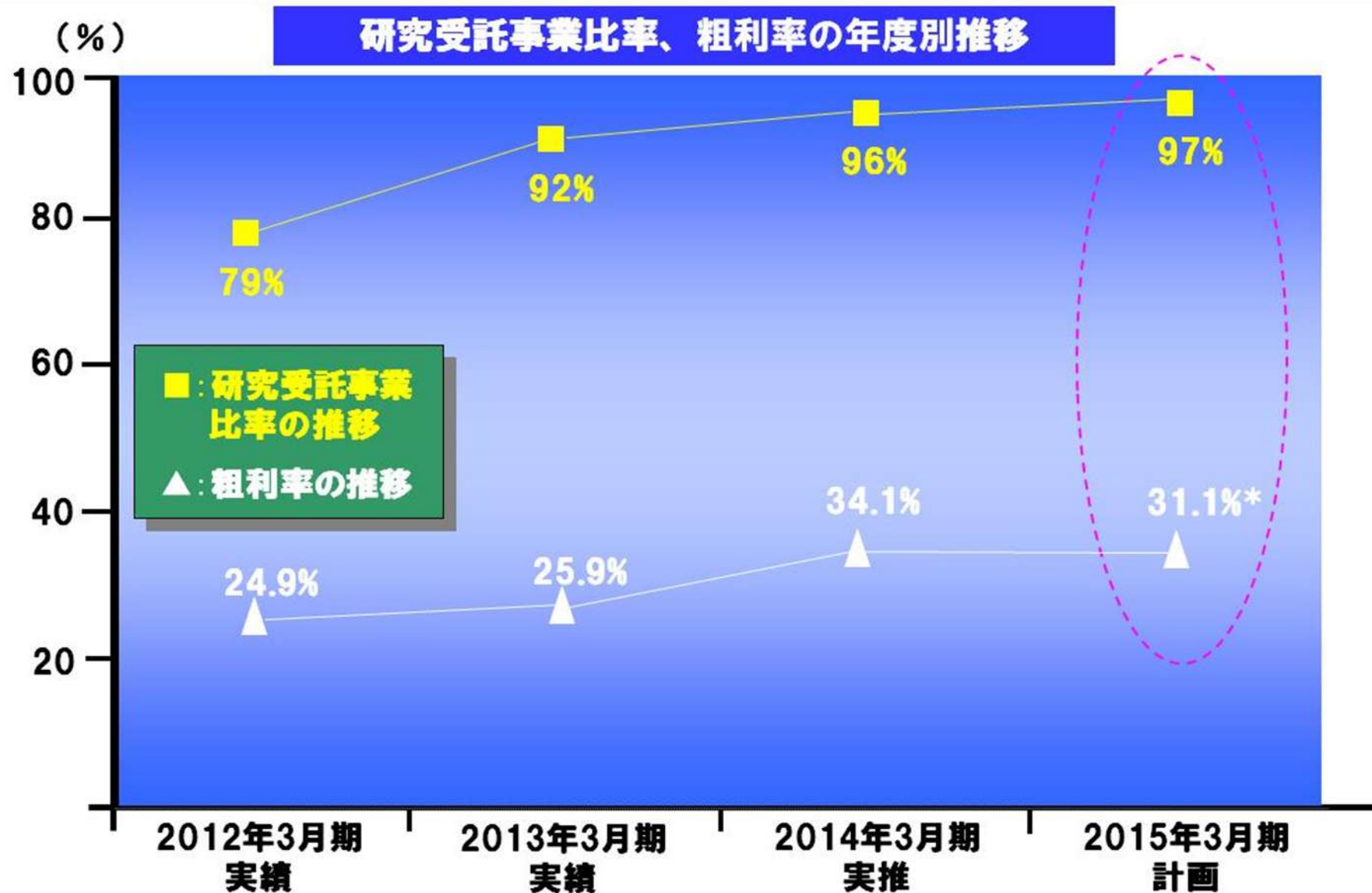
1. 提案型研究受託の営業強化と新規サービスの開発
 —マイクロアレイ解析による大型研究受託、公募を活用した新規サービス開発促進—
2. 診断事業の多角化と海外展開
 —リウマチ多剤効果判定と免疫年齢の開発及び販促強化、診断事業の海外展開推進—

2015年3月期



- ・ 研究開発から事業化へのステップ推進
- ・ 新規サービスの開発によるメニュー強化
- ・ 受託サービス事業の効率向上

(注*) : 研究受託売上には公募案件67百万円を含む



【研究受託事業比率、粗利率向上の理由】

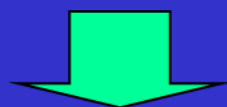
- (1) 売上高に占める研究受託事業の比率が年々増加 (販社ビジネスから自社製品ビジネスへの転換)
 - (2) 作業効率の改善及び粗利率の高いメニューへの重点化により粗利率が向上
- (*2015年3月期は売上高のうち公募案件の比率増加により、粗利率が若干低下見通し)



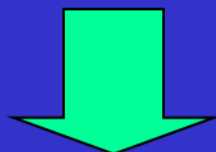
Ⅱ. 2015年3月期業績改善施策

研究開発から事業化へ加速

- I. 提案型研究受託の強化
- II. 診断事業の開発及び販促強化
- III. 海外展開



提案型研究受託の営業強化、リウマチチェックや
免疫年齢など診断事業の強化



今年度こそ黒字化実現

研究開発から事業化へ加速 — 研究受託メニュー充実と診断関連事業強化 —

1. 提案型研究受託メニュー強化 — マイクロアレイ解析と新規受託サービスの推進 —

【継続施策】

- 全社員営業活動と提案型研究受託提案 : リピート顧客確保と食品、創薬系の大型案件受注
- 新規受託メニューの充実 : PCR受託、次世代シーケンス受託への展開
- 新規研究受託（2012年下期から開始） : 臨床研究・コホート研究サポート（公募事業）
- 健康支援事業（2012年下期から開始） : 食品企業等をターゲットとした受託研究
- 再生医療支援事業 : 細胞の品質評価系への参入及び拡充

2. 診断関連事業拡充

【継続施策】

- リウマチ多剤効果判定 : 3剤対象のサービスは2015年3月期第3四半期にシフト
- iCIS-crdb、iPadソフト・ビジネスの展開 : 医療情報システム統合サービスの開始
- 医薬品開発と一体化した診断マーカー開発へ参入 : コンパニオン診断薬開発支援推進
- RNAチェック（免疫年齢）開発強化 : うつ病、アルツハイマー診断マーカーの研究開発

【新規施策】

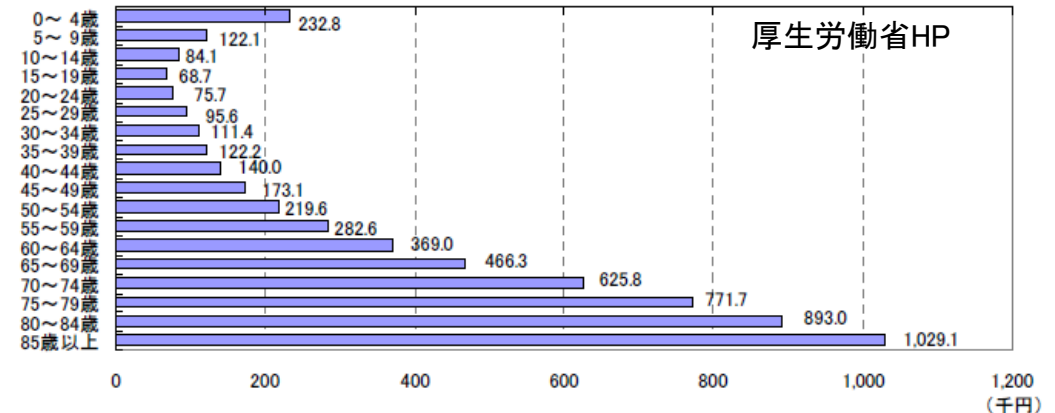
- 診断事業の海外展開 : 海外サイトとの共同研究開始
- 販売促進のためのアライアンス強化 : 国内遺伝子診断関連会社との連携



Ⅲ. 今後の研究開発について

- 少子化
- 高齢者の健康問題
- 社会システムの変化

年齢階級別一人当たり医療費(平成22年度)



労働力の減少、年金、社会保障、医療費増大、税金

健全な長寿社会とは？

歳をとっても寝たきりではなく、元気で働ける環境
病院に頼らない健康管理—予防医学—

未病社会—健幸社会—の実現

Ⅲ-2. 健康長寿社会への取り組み

日本再興戦略 -JAPAN is BACK- (抜粋)

テーマ1 : 国民の「健康寿命」の延伸

平成25年6月

社会像	： 予防から治療、早期在宅復帰に至る適正なケアサイクルの確立		
戦略分野	： 健康増進・予防サービス、生活支援サービス、医薬品・医療機器、高齢者向け住宅等		
市場規模	国内	26兆円(2020年)、37兆円(2030年)	Cf. 16兆円(現在)
	海外	311兆円(2020年)、525兆円(2030年)	Cf. 163兆円
雇用規模		160万人(2020年)、223万人(2030年)	Cf. 73万人

(1) 2030年の在るべき姿

我が国の健康寿命は、世界で最高水準となっている。我が国の医療・介護システムは、国民皆保険制度の下、フリーアクセスを維持しつつ、比較的安価な費用負担で、質の高いサービスを提供し、これに寄与している。

しかしながら、

- ・慢性疾患による受療が多い、疾病の罹患率が高い、要介護率が高いなどの特徴を有する75歳以上の高齢者の増加、
- ・一人暮らし世帯など、家庭内の相互扶助が期待できない高齢者の増加、
- ・医療・介護技術の進歩による、サービス提供水準の高度化、

などにより、国民の需要が増大している。

2030年には、予防サービスの充実等により、国民の医療・介護需要の増大をできる限り抑えつつ、より質の高い医療・介護を提供することにより、『国民の健康寿命が延伸する社会』を目指すべきである。

このため、「健康・医療戦略」(本年6月14日関係大臣申合せ)も踏まえ、次の3つの社会像の実現を目指す。

- ① 効果的な予防サービスや健康管理の充実により、健やかに生活し、老いることができる社会
- ② 医療関連産業の活性化により、必要な世界最先端の医療等が受けられる社会
- ③ 病気やけがをしても、良質な医療・介護へのアクセスにより、早く社会に復帰できる社会

これにより、国民自身が疾病予防や健康維持に努めるとともに、必要な予防サービスを多様な選択肢の中で購入でき、必要な場合には、世界最先端の医療やリハビリが受けられる、適正なケアサイクルが確立された社会を目指す。

未病を治すかながわ宣言

全国有数の速さで超高齢社会が進化する神奈川県。今のままでは、医療や介護をはじめ今の社会システムが早晚持ちこたえられなくなるのは明らかです。

そうならないために今、私たちがなすべきは、健康寿命を伸ばし、高齢になっても誰もが生き生きと健康に暮らし、長生きして幸せだったという社会を実現することです。

最近の研究では、生活習慣病や要介護状態(虚弱化とも言われています)になる過程が解明され、それを未然に防ぐ方法も明らかになってきています。

そのため、神奈川県は、特定の疾患の予防・治療に止まらず、心身の状態を整え改善する「未病を治す」取り組みを進めることとしました。

これは、食や運動、社会参加など、ライフスタイルの見直しにより、人々の健康を維持しより良い状態にしていこうとするものです。

神奈川県は、「未病を治す」取り組みを進めるにあたり、「2つの理念」と「3つの取り組み」を宣言します。

2つの理念

- ・ 「超高齢社会を幸せに生きるには未病を治すことが大切だ」という価値観を県民文化として育てます。
- ・ そのため、未病を治す考え方を皆で学び、県民一人ひとりとはもとより社会のあらゆる主体が協力しあって、未病を治す取り組みを展開します。

3つの取り組み

- ・ 食 : 医食農同源の考え方で、バランスの良い食生活を送る取り組み
- ・ 運動 : 日常生活に運動やスポーツなど身体活動を取り入れる取り組み
- ・ 社会参加 : 人と人の出会い・ふれあい・交流を進める取り組み

行政・県民・企業など、それぞれの主体は、互いに知恵を出し合い、創意工夫を重ね、未病を治す上記3つの取り組みを、それぞれの立場から効果的に推進します。

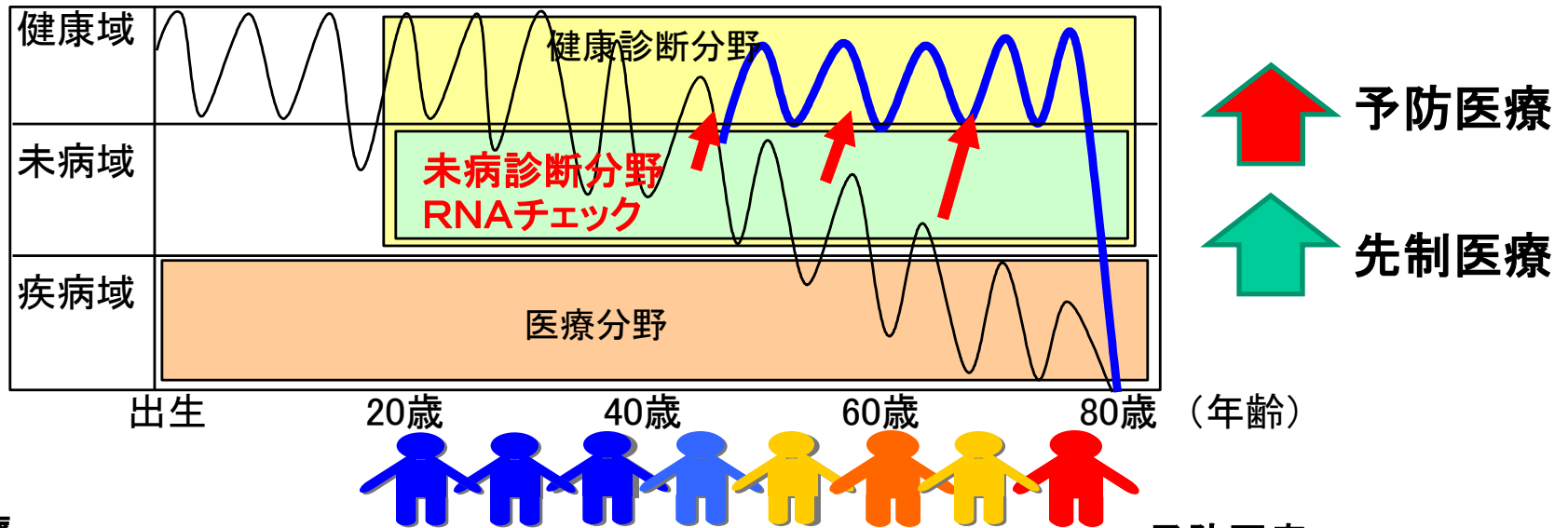
- ・ 県 : 未病を治す取り組みの枠組みを示し、市町村と協力して、未病を治す考え方の普及に取り組みます
- ・ 県民 : 未病を治す考え方を学び、3つの取り組みを実践します
- ・ 企業・団体 : 企業活動・団体活動等の一環として、県民が3つの取り組みを実践することにつながるような創意工夫を展開します

神奈川県は、健康寿命日本一を目指し、広く、この宣言への賛同と参画を呼びかけます。

2014年1月8日

神奈川県知事 黒岩祐治

Ⅲ-3. 未病マーカー開発(RNAチェック)



先制医療

- ・健康診断による超早期の病態の発見
病気のバイオマーカーの開発
診断機器の開発
- ・適切な治療法の選択
投薬選択のためのバイオマーカー開発
手術技術の向上
ワクチン
- ・再発の防止
再発バイオマーカーの開発
経過観察

予防医療

- ・健康診断による超早期の病態の発見
病気ではない、病気になる手前の
バイオマーカーの開発
簡便な診断機器の開発
- ・予防対策(日々の生活)
睡眠
食事
運動
サプリメント

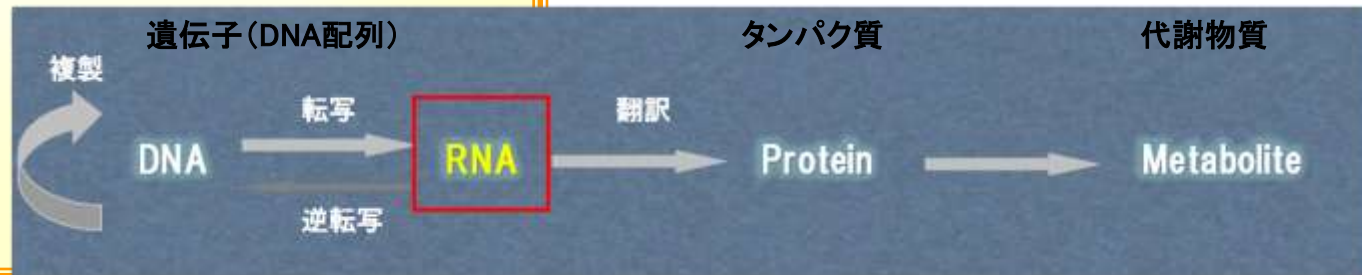
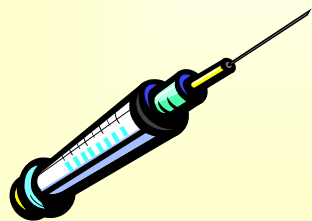
疾病発症前の予防的介入
新規治療薬開発
体系的治療法の開発

健康人(個々)をモニタリングするシステムの必要性

血液検査(遺伝子発現RNAを調べる)により未病状態を察知

RNA CHECK

Man's health condition may be monitored with blood RNA.



【検査対象としての RNA】

①採血(血液)であることの特長

- ・低侵襲サンプリング (通常検診)
- ・免疫細胞の働き(機能)

②RNAを測定することの特長

- ・刻々と変化する生体の状態を反映
- ・早期に変化 (予兆を捉える)
- ・疾病・健康モニタリングに最適
- ・確立された網羅的検出手法

ゲノムDNA解析 (SNPs)、生化学検査と組み合わせることにより総合的な健康情報を提供

Ⅲ-5. 免疫年齢(RNAチェック)

免疫 ダメ男 様 チェックレポート SAMPLE

免疫年齢

検査情報

検査日時: 2010年12月1日
 検査年齢: 45歳
 検査受付日: 2010年12月1日
 レポート発行日: 2010年12月14日

免疫年齢測定結果

あなたの免疫年齢は……

65歳

です。

免疫年齢調査

免疫年齢がアップ

年齢にふさわしい

免疫年齢がダウン

コメント

あなたの免疫年齢は「若年」と、「若年より高齢」と判定されました。両方の平均的な免疫年齢と比べて、あなたの免疫年齢は優れている可能性が高いです。これを機に、一生涯の生活習慣を見直してみたいのではないでしょうか。これまでの研究により、糖尿病やがんでは免疫年齢が若く判定される傾向があることが明らかになっております。もし日々の生活で、おのれの健康、病の予防など、健康上の課題を抱えているようでしたら、一度病院にて詳細な検査をされることをお勧めいたします。

免疫 ダメ男 様 追加レポート内容 (要旨) 追加レポート

解説

免疫年齢とは……

免疫細胞の種類は年齢を重ねることに減少することが一般的に知られています。免疫細胞は私たちの体を巡る血液の中に多く存在し、体内に侵入してきた病原体、ウイルスなどに目をつけています。まずは、これまでにどの年齢層（20～30歳の健康人の血液の遺伝子の発現を調べ、年齢と最も関連する10種の遺伝子発現値に基いて算出しています。体内はこれら免疫遺伝子の発現を元に算出される年齢のことを「免疫年齢」といいます。免疫年齢は、実年齢、骨年齢、脳年齢などと同様、「体内年齢」とも呼ぶことができます。

免疫遺伝子の1%と年齢の関係

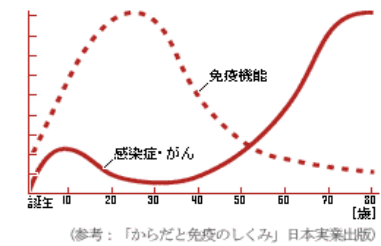
免疫年齢と年齢の関係

注意事項

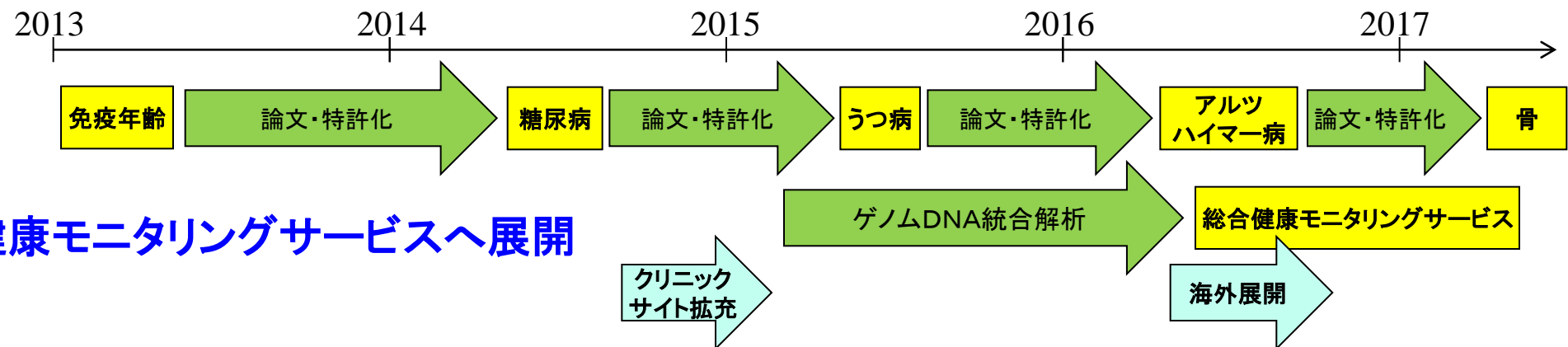
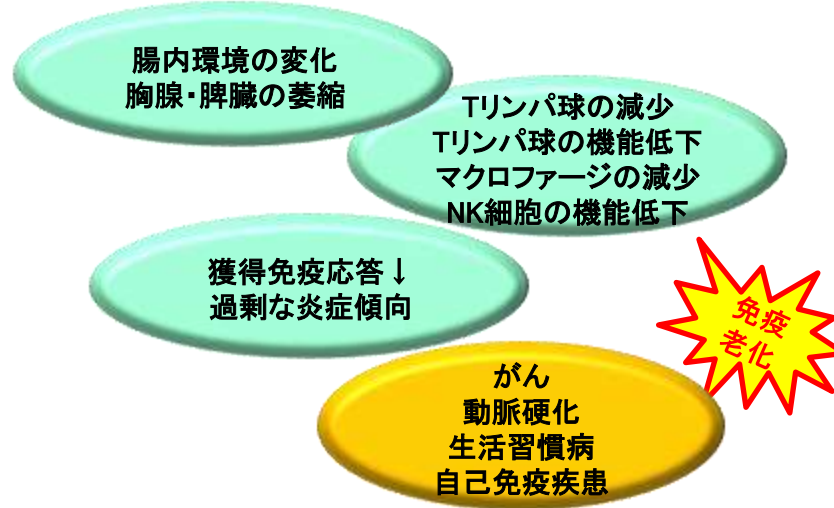
お問い合わせ

株式会社DNAチップ研究所
 RNAチェックセンター

〒220-8543 東京都世田谷区神宮寺3-1-1 1階 5号室
 TEL: 046-295-0210 (営業時間: 平日9:00~17:30)
 FAX: 046-295-0229
 E-mail: dna@dna-chip.com



年齢を重ねるごとに免疫細胞の機能は低下する





健康長寿の世界標準を創出するシステム医学・医療拠点 (COI-T)

プロジェクトリーダー: 秋草 直之(富士通株式会社相談役)、 研究リーダー: 洪 実(慶應義塾大学 医学部 教授)

概要

世界に誇れる健康長寿社会を実現するため、最先端のクラウド型情報通信技術や網羅的分子・画像解析技術、もの作り技術を活用した未来型医療・システム医学のプロトタイプを創出、産学官が一体となって実証実験する場を形成する。

そこから創出されるビッグデータを活用し、先端医療を含む医学・医療イノベーションの爆発的連鎖反応を引き起こすインフラと人的リソースを整備する。外に向かって開かれたオープン・イノベーションの拠点を形成することにより、企業が大きなビジネスチャンスをつかむと同時に、ベンチャー企業が次々と巣立っていくことで、ビジョン1: Smart Life Care、ビジョン2: Smart Japanを実現する。



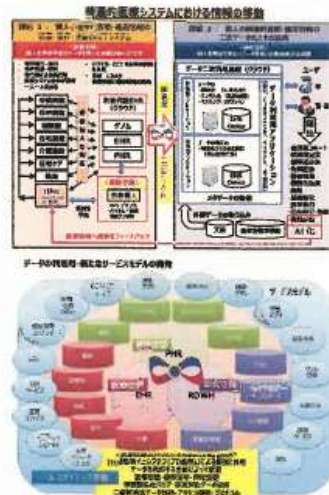
実施体制

中核機関: 慶應義塾大学

- 参画企業・機関: 富士通、島津製作所、武田薬品工業、三菱化学メディエンス、日立製作所、リプロセル、コニカミノルタ、ピーエスシー、DNAチップ研究所、京葉プラントエンジニアリング、テクナー、産業技術総合研究所
- サテライト機関: 東京大学医科学研究所、参画企業: クオントムバイオシステムズ等
- 海外サテライト: 米国 国立老化研究所 (National Institute on Aging) シンガポール Keio-NUS CUTEセンター

実現の鍵となる研究開発テーマ

- ✓ 次世代型EHR構築のための技術開発
 - 個人の病院医療情報、健康情報を包括的に統合した次世代EHR (Electronic Health Record) を構築するための、技術開発と検証を行う。情報の標準化、クラウド化、多言語化、スケーラブルな記憶・解析容量、高度な医療データ・セキュリティを持つプロトタイプの開発
- ✓ 臨床検査サンプルの匿名化、バンキング化のための技術開発
 - 連結可能匿名化された検体の自動分注、バンキング化の技術開発を行う
- ✓ 医療関連情報の匿名化・保存のための技術開発
 - 医療関連情報を医療ビッグデータとして高度に活用するための、匿名化・保存についての技術を開発する
- ✓ 新たなDNAシーケンサー技術開発
 - 新たな超高精度1分子シリコンシーケンサーの開発とデータ解析技術の開発を行う。
- ✓ ヘルスビッグデータを社会実装するための体制構築
 - ヘルスビッグデータの構築、創出される医療情報、患者、健康人ゲノム情報を利用するための、倫理的、法的、社会基盤体制の整備を行う



関節リウマチ診断システム

IRIS

IRISは関節リウマチのスムーズな診断をサポートする革新的なiPadアプリです

診断情報自動計算、腫瘍で診断をサポート!

- 患者情報を診察しながら医師や看護師の入力可能
- 検査値(CRR、ESR)などの入力からDAS28、SDAIなどの診断値を自動計算
- 診断標準の一覧表から、各種検査項目の異常値を自動検出

関節リウマチ医師診断を患者様で簡単入力

- 診断時に症状や診察のこぼりや漏れ、症状変化などもタッチ入力
- 診断時の数分で年代でも診断に入力可能
- 文字も大きく見やすいため高齢の方にも対応可能で安心

関節リウマチ生物学的製剤効果予測検査

リウマチチェックレポート

免疫年齢

チェックレポート

検査情報

患者名: 渡辺 大輔 性別: 男 年齢: 45歳

検査日: 2010年12月1日

検査時間: 2010年12月1日

レポート発行日: 2010年12月14日

免疫年齢算定結果

あなたの免疫年齢は……

65歳

あなたの年齢は45歳

免疫年齢が年齢より高い

免疫年齢が年齢より低い

免疫年齢が年齢とほぼ同じ

免疫年齢が年齢より低い場合、免疫機能が低下している可能性があります。生活習慣を見直し、免疫力を高めるための対策が必要です。

免疫年齢が年齢より高い場合、免疫機能が亢進している可能性があります。免疫機能が亢進している場合は、免疫系が過剰に反応している可能性があります。免疫系が過剰に反応している場合は、免疫系が過剰に反応している可能性があります。

コメント

1 検査情報にもよりますが報告書

患者ID: 123456 医師名: OOOO

検体ID: TM_001008 検体名: OOOO検体

検体検出日: 2010/02/01 検体ID: YOOO-0000

検査項目(AI)名: 2010/02/01 検査項目(検査項目)名: 検査項目(検査項目)名

レポート発行日: 2010/02/02 検査項目(検査項目)名: 検査項目(検査項目)名

2 リウマチチェック結果

検査項目: 自己抗体(抗RA因子)23項目の検査結果

検査項目: TM_001008

検査結果: *

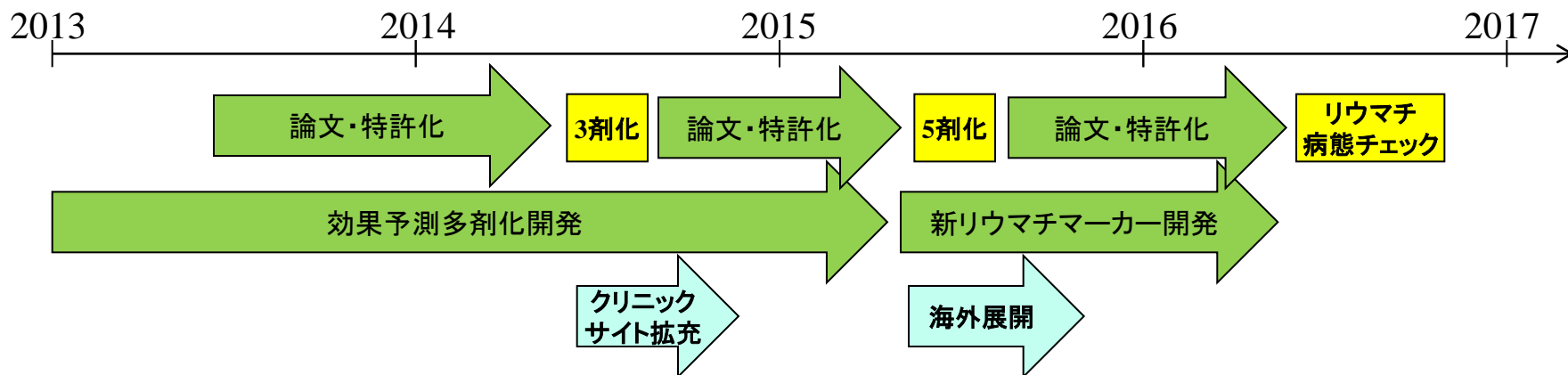
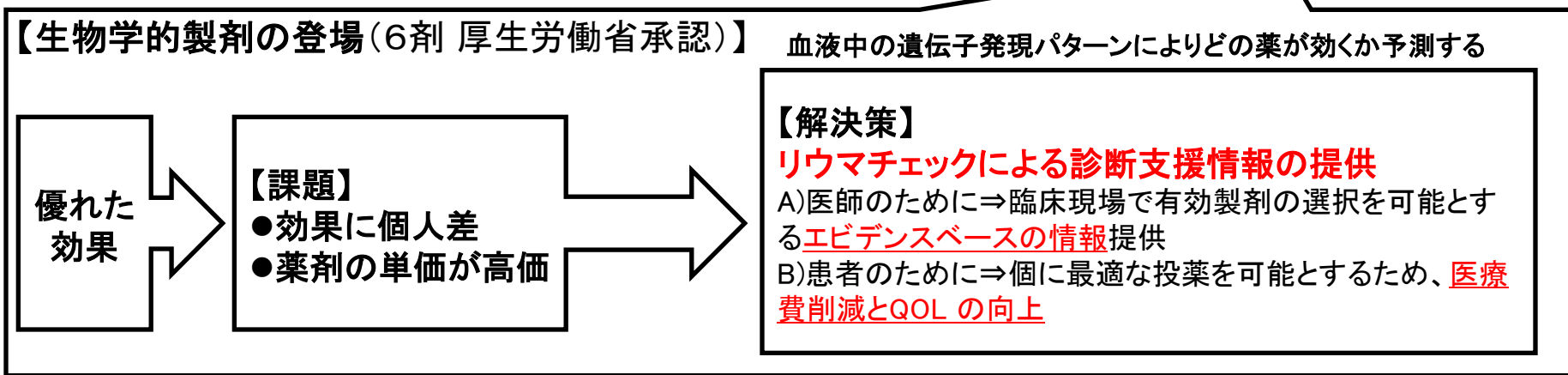
【薬剤名】	【予測結果】	【正診率】
インフリキシマブ	22週後の効果が期待できる (DAS28-ESR < 2.6達成)	68.0%
エタネルセプト	22週後の効果が期待できない (DAS28-ESR < 2.6未達成)	64.7%
トシリズマブ	22週後の効果が期待できる (DAS28-ESR < 2.6未達成)	93.5%

Ⅲ-7. リウマチチェック

生物学的製剤効果予測 **リウマチチェック**

※出典:「病院の実力2010」、読売新聞社

患者数	新規患者数	男女比	発症年齢	生物学的製剤を用いた治療した場合の、患者一人当たりの負担費用
約70万人	約20,000人／年	約7割が女性	30～60歳代が中心	約40～60万円／年



Ⅲ-8. 中期事業計画

推進方針 研究開発から事業化へー研究受託事業メニュー充実と診断関連事業強化ー
 研究受託事業を基本に診断関連事業を拡充し、2016年に売上高5億円(内、診断関連1億円)を目指す

		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
1. 研究受託事業	1-1. リピート顧客フォローの充実及び全社員営業活動注力ー提案型研究受託獲得	○					→
	1-2. 新規受託メニューの充実ーPCR受託・次世代シーケンス受託への展開	○	○			○	→
	1-3. 新規研究受託ー臨床研究・コホート研究サポートビジネス	○	○				→
	1-4. 健康支援事業ー食品企業等をターゲットとした受託研究ー	○	○				→
	1-5. 再生医療支援事業ー細胞の安全性評価系への参入ー	○	○				→
2. 診断関連事業	2-1. リウマチ多薬剤効果判定ー3剤対象にサービスイン〜リウマチ総合診断支援サービス拡販	○			○	○	○
	2-2. 臨床データベース事業の推進ーiOIS-DB, iPadソフトビジネス展開	○		○			→
	2-3. 医薬品開発と一体化した診断マーカー開発へ参入ーコンパニオン診断薬開発支援	○		○	○	○	→
	2-4. 研究開発から事業化へ加速ー発現プロファイルデータのビジネス化ー健康モニタリングサービス	○		○	○	○	○

